

執筆者氏名	刊行書籍又は雑誌名	刊行書店名	巻, 頁 (西暦年号)
130) Kaisho,T. <u>Tsutsui,H.</u> Tanaka,T. Tsujimura,T. Takeda,K. Kawai,T. Yoshida,N. Nakanishi,K. Akira,S.	Impairment of natural killer cytotoxic activity and interferon γ production in C/EBP γ -deficient mice.	J.Exp.Med	190:1573-1581 (1999)
131) Yoshimoto,T. <u>Tsutsui,H.</u> Tominaga,K. Hoshino,K. Okamura,K. Okamura,H. Akira,S. Paul W.E. Nakanishi,K.	Interleukin-18 (IL-18) ,although anti-allergic when administered with IL-12,stimulates IL-4 and histamine release by basophils.	Proc.Natl.Acad.Soci	96:13962-13966 (1999)
132) <u>Tsutsui,H.</u> Okamura,H. Nakanishi,K.	Role of interleukin-18 for liver injury,In "Recent Research Developments in Immunology", Research Signpost.	Trivandrum,India	in press (2000)
133) 筒井ひろ子 柏村信一郎 善本 知広 岡本 春樹 中西 憲司	IL-18：最近のトピックス.	臨床免疫	32:574-580 (1999)
134) Kawamura,Y. <u>Sawada,T.</u> Sunami,E. Saito,H. Watanabe,T. Masaki,T. Muto,T.	Gasless laparoscopically assisted colonic surgery.	Am.J.Surg.	177:515-517 (1999)
135) 茂木 健太 長廻 紘 野川 秀之 秋谷 寿一 今 陽一 澤田 俊夫	潰瘍性大腸炎大腸炎の治療：治療法概論.	日本臨牀	57:(11)2466-2471 (1999)
136) <u>福島 恒男</u>	潰瘍性大腸炎.	外来診療のすべて	378-379 (1999)
137) <u>福島 恒男</u> 鬼頭 文彦 小尾 芳郎 松尾 恵五 小金井一隆	クローン病術後早期に発症した難治性瘻孔の3例.	日本臨床外科学会誌	32:55-59 (1999)
138) 小金井一隆 木村 英明 篠崎 大	ステロイドによる大腿骨頭壊死をきたした潰瘍性大腸炎の3例.	日本大腸肛門病会誌	52:409-414 (1999)

執筆者氏名	刊行書籍又は雑誌名	刊行書店名	巻, 頁 (西暦年号)
139) 小金井一隆 福島 恒男	クローン病瘻孔合併例の外科治療.	消化器科	28(5):534-543 (1999)
140) 福島 恒男	画像を読む 下部消化管造影 -炎症性腸疾患-	消化器外科NURSING	4:1260-1264 (1999)
141) 福島 恒男 鬼頭 文彦 石山 暁 小金井一隆 高橋 正純 藤井 正一	在宅経腸栄養の保険上の問題点.	JJPEN	21:643-646 (1999)
142) 馬場 正三	大腸癌発癌機構と遺伝子異常.	日本内科学雑誌	88(3):444-456 (1999)
143) 馬場 正三 丸山 敬三	P53 遺伝子異常と消化管悪性腫瘍.	現代医療	31(6):93-100 (1999)
144) Arai,H. Hanai,H. Furuta,T. Sato,Y. Yamada,M. Kaneko,E. Baba,S. Sugimura,H.	A patient who survived total colonic type ulcerative colitis complicated by toxic megacolon, disseminated intravascular coagulation, methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection and bilateral femoral phlebothrombosis.	J.Gastroenterol	34:395-399 (1999)

研究成果の刊行に関する一覧表

著 書

執筆者氏名	題 名	書名(編集者名)	発行者名(発行地名)	巻, 頁 (発行西暦年号)
1) 里見 匡迪 下山 孝	2 感染論 「A 細菌説-腸内細菌」, 炎症性腸疾患-潰瘍性大腸炎とCrohn 病のすべて.	(武藤徹一郎, 八尾恒良, 名川弘一, 櫻井俊弘 編)	医学書院 (東京)	19-23 (1999)
2) 澤田 康史 大西 国夫 江頭 明盛 金田 真弥 矢野 隆子 大楠 和信 福井 信 山村 誠 里見 匡迪 下山 孝	5-7 新しい治療法 「a 白血球除去療法」.	炎症性腸疾患診療ハンドブック(日比紀文 編)	真興交易(株)医学出版部 (東京)	190-198 (1999)
3) 澤田 康史 大西 国夫 江頭 明盛 下山 孝	炎症性腸疾患.	アフエレススマニュアル (日本アフエレス学会編)	秀潤社 (東京)	274-281 (1999)
4) 馬場 忠雄 坂本健一郎	老年病各論 消化器疾患 下部消化管.	新老年医学 第2版 (折茂 肇 編)		742-752 (1999)
5) 馬場 忠雄 佐々木雅也	アラキドン酸カスケード.	炎症性腸疾患-潰瘍性大腸炎とCrohn病のすべて (武藤徹一郎, 八尾恒良, 櫻井俊弘 編)	医学書院 (東京)	46-49 (1999)
6) 馬場 忠雄 安藤 朗	IBDのメカニズム.	SELECTED ARTICLE 2000病態生理の基礎医学的理解(中村克子, 荒木剛, 崎山快男 編)	Medic Media	99-104 (1999)
7) 馬場 忠雄 佐々木雅也	潰瘍性大腸炎の内科治療方針.	炎症性腸疾患ハンドブック(日比紀文 編)	真興交易医学図書出版部(東京)	104-150 (1999)
8) 馬場 忠雄	クローン病の治療指針.	消化器セミナー77 炎症性腸疾患-新しい視点(馬場忠雄 編)	へるす出版 (東京)	201-209 (1999)
9) 藤山 佳秀 内原 啓次 馬場 忠雄	粘膜免疫機構と腸内抗原 アラキドン酸カスケードと粘膜障害	医学のあゆみ別冊 食物アレルギーの最前線(名倉 宏 編)	医歯薬出版	39-45 (1999)
10) 樋渡 信夫	診断手順.	炎症性腸疾患・潰瘍性大腸炎とCrohn病のすべて (武藤徹一郎 他編)	医学書院 (東京)	163-166 (1999)
11) 樋渡 信夫	治療指針・取り扱い指針.	炎症性腸疾患・潰瘍性大腸炎とCrohn病のすべて (武藤徹一郎 他編)	医学書院 (東京)	203-207 (1999)

執筆者氏名	題名	書名(編集者名)	発行者名(発行地名)	巻, 頁 (発行西暦年号)
12) 樋渡 信夫	大腸疾患の画像診断法.	大腸外科 (安富正幸, 武藤徹一郎, 馬場正三 編)	医学書院 (東京)	37-45 (1999)
13) 樋渡 信夫	吸収不良症候群.	内科学1 (黒川 清, 松澤佑次 編)	文光堂 (東京)	719-721 (1999)
14) 樋渡 信夫	蛋白漏出性胃腸症.	内科学1 (黒川 清, 松澤佑次 編)	文光堂 (東京)	721-722 (1999)
15) 織内 竜生 樋渡 信夫	炎症性腸疾患と妊娠-相互の影響 および妊娠中の治療方針について.	消化器セミナー77 炎症性腸疾患-新しい視 点(馬場忠雄 編)	へるす出版 (東京)	221-231 (1999)
16) 織内 竜生 樋渡 信夫	偽膜性腸炎.	KEY WORD 2000-2001 消化管(浅香正博, 北島正 樹, 寺野 彰 編)	先端医学社 (東京)	66-67 (1999)
17) 織内 竜生 樋渡 信夫	直腸粘膜脱症候群.	KEY WORD 2000-2001 消化管(浅香正博, 北島正 樹, 寺野 彰 編)	先端医学社 (東京)	148-149 (1999)
18) 樋渡 信夫	クローン病.	今日の治療指針2000 (多賀須幸男 編)	医学書院 (東京)	413-414 (1999)
19) 棟方 昭博	薬物療法.	炎症性腸疾患 (武藤徹一郎, 八尾恒良, 名川弘一, 櫻井俊弘 編)	医学書院 (東京)	208-213
20) 石黒 陽 棟方 昭博	抗TNF療法(抗TNFキメラ抗体).	炎症性腸疾患 (武藤徹一郎, 八尾恒良, 名川弘一, 櫻井俊弘 編)	医学書院 (東京)	248-250 (1999)
21) 棟方 昭博 坂本 十一	炎症性腸疾患の診断4-1.	炎症性腸疾患ハンドブッ ク(日比紀文 編)	真興交易医学図書出版 部(東京)	81-93 (1999)
22) 棟方 昭博 坂本 十一	潰瘍性大腸炎の治療指針.	消化器病セミナー77 (馬場忠雄 編)	へるす出版 (東京)	181-200 (1999)
23) 金城 福則	細菌性食中毒.	今日の治療指針 1999年 (多賀須幸男 他編)	医学書院 (東京)	172-173 (1999)
24) 金城 福則	発刊によせて クローン病とはク ローン病の治療法.	ゆいまーる クローン病 疾患者のための沖縄版情 報誌(金城福則 編)	沖縄クローン友の会 (那覇)	2-10 (1999)
25) 中野 博重 藤井 久男	術後管理.	炎症性腸疾患-潰瘍性大 腸炎とCrohn病のすべて (武藤徹一郎 他編)	医学書院 (東京)	284-287 (1999)
26) 中野 博重 藤井 久男 稲次 直樹	Crohn病.	大腸・肛門外科 (武藤徹一郎 編)	朝倉書店 (東京)	404-420 (1999)
27) 守田 則一 守田 佳子	炎症性腸疾患の新しい視点.	(馬場忠雄 編)	へるす出版 (東京)	(1999)

執筆者氏名	題 名	書名(編集者名)	発行者名(発行地名)	巻, 頁 (発行西暦年号)
28) 守田 則一	炎症性腸疾患.	(武藤徹一郎 他編)	医学書院	(1999)
29) 福島 恒男	大腸クローン病.	(高久史磨 他編)	Medical View社 (東京)	(1999)
30) 福島 恒男 杉田 昭	炎症性腸疾患 潰瘍性大腸炎と Crohn病のすべて 合併症の治療 肛門病の治療.		医学書院 (東京)	238-242 278-280 (1999)
31) 福島 恒男 小金井一隆	潰瘍性大腸炎の外科治療.	大腸外科 (安富正幸, 武藤徹一郎, 馬場正三 編)	医学書院 (東京)	96-105 (1999)
32) 福島 恒男 小金井一隆	潰瘍性大腸炎.	大腸肛門外科 (武藤徹一郎 編)	朝倉書店 (東京)	305-314 (1999)
33) 福島 恒男 小金井一隆	外科的局所療法—狭窄形成術と肛 門部病変.	消化器セミナー77 (馬場忠雄 編)	へるす出版 (東京)	305-314 (1999)
34) 川上 和彦 馬場 正三	狭窄形成術	炎症性腸疾患 (武藤徹一郎, 八尾恒良, 名川弘一, 櫻井俊弘 編)	医学書院 (東京)	275-277 (1999)
35) 馬場 正三	Crohn病	大腸外科 (安富正幸, 武藤徹一郎, 馬場正三 編)	医学書院 (東京)	106-108 (1999)
36) Baba,S. Rodriguez- Bigas,M.	Overview of alternative genetic pathways in colorectal carcino- genesis.	Molecular pathology of early cancered (S,Srivastava 編)	ISO Press (USA)	(1999)
37) 澤田 俊夫	腹腔鏡補助下手術	大腸・肛門外科 (武藤徹一郎 編)	朝倉書店 (東京)	585-594 (1999)

学会発表に関する一覧表

学会発表に関する一覧表

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
1) 下山 孝	炎症性腸疾患診療最近の進歩ー特に病態解明と治療についてー。(特別講演)	第6回薬と医療シンポジウム	大阪	8.21 (1999)
2) Sawada,K. Shimoyama,T.	Therapeutic apheresis in ulcerative colitis . (シンポジウム)	Second International Congress of the International Society for Apheresis (ISFA)	ドイツ	4.15-18 (1999)
3) Fukunaga,K. Shimoyama,T. Sawada,K. Draku,M. Mueller,J. Sueoka,A. Nose,Y.	Membrane Auto-transfusion System (MATS)	Second International Congress of the International Society for Apheresis (ISFA)	ドイツ	4.15-18
4) 福永 健 澤田 康史 下山 孝 能勢 之彦	模型自己血回収装置 (MATS:Membrane Auto-transfusion System) の開発。(ワークショップ)	第19回日本アフェレシス学会学術大会	滋賀	6.10-11 (1999)
5) 江頭 明盛 澤田 康史 大西 国夫 金田 真弥 矢野 隆子 近野 真嗣 長瀬 和子 大堂麻衣子 下山 孝	Th1,Th2細胞より見た白血球除去療法の免疫調節機構について。(ワークショップ)	第19回日本アフェレシス学会学術大会	滋賀	6.10-11 (1999)
6) Sawada,K. Shimoyama,T.	Leukocytapheresis for inflammatory bowel disease. (シンポジウム)	The Second Symposium on Hericobactor meets Inflammatory Bowel Disease	兵庫	11.27-28 (1999)
7) 松村 徹也 福井 信 山村 誠 田村 和民 里見 匡迪 下山 孝	潰瘍性大腸炎における腸内細菌 (特に <i>Bacteriodes vulgatus</i>) について.	第32回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会	名古屋	1.22-23 (1999)
8) 馬場 裕子 福田 能啓 田村 和民 里見 匡迪 下山 孝 戸澤 辰雄	クローン病の原因としての血中抗ブタ膵アミラーゼ抗体の検討.	第96回日本内科学会総会	東京	3.30-4.1 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
9) 馬場 裕子 戸澤 辰雄 福田 能啓 田村 和民 里見 匡迪 下山 孝	ELISAによるIBD患者血中のプタアミラーゼ抗体の研究.	第85回日本消化器病学会 総会	長崎	4.22-24 (1999)
10) 大西 国夫 澤田 康史 江頭 明盛 金田 真弥 近野 真嗣 大楠 和信 小坂 正 長瀬 和子 福永 健 奥井 雅憲 福田 能啓 田村 和民 里見 匡迪 下山 孝 西上 隆之	白血球除去療法単独で長期に緩解維持が可能であった重症発症初発クローン病の一例.	第19回日本アフェレシス 学会学術大会	滋賀	6.10-11 (1999)
11) 長瀬 和子 澤田 康史 大西 国夫 大堂麻衣子 名田 記子 下山 孝	フィルター法白血球除去療法による赤血球損失率の検討.	第19回日本アフェレシス 学会学術大会	滋賀	6.10-11 (1999)
12) 金田 真弥 澤田 康史 大西 国夫 江頭 明盛 大楠 和信 近野 真嗣 矢野 隆子 日下 剛 林 千鶴子 長瀬 和子 大堂麻衣子 福井 信 山村 誠 里見 匡迪 下山 孝	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (CIDP) を合併する潰瘍性大腸炎患者に対し、白血球除去療法 (LCAP) と二重膜濾過血漿交換療法 (DFPP) の併用が効果的であった一例.	第19回日本アフェレシス 学会学術大会	滋賀	6.10-11 (1999)
13) 田中 淳二 奥井 雅憲 馬場 裕子 指尾 宏子 森 淳一 林 千鶴子 日下 剛 橋本 明美 福田 勝英 福田 能啓 田村 和民 下山 孝	クローン病症例の血清亜鉛濃度と亜鉛含有製剤投与の試み.	第30回日本消化吸収学会 総会	滋賀	7.10 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
14) 下山 孝	クローン病について.	日本学術会議第17期第7部 消化器学研連公開学術講座	大阪	9.11 (1999)
15) 岡沢 啓 金井 隆典 中丸 幸一 福井 一人 矢島 知治 石井 裕正 岩男 泰 緒方 晴彦 渡辺 守 日比 紀文	IL-18によるクローン病腸管粘膜内リンパ球 の増殖促進と活性化.	第85回日本消化器病学会 総会	長崎	4.22 (1999)
16) 中丸 幸一 金井 隆典 山崎 元美 松岡 克善 福井 一人 岡沢 啓 長沼 誠 石井 裕正 渡辺 守 日比 紀文	大腸上皮細胞における interleukin18 (IL-18) の発現と炎症性腸疾患における炎症部粘膜内 での局在.	第85回日本消化器病学会 総会	長崎	4.22 (1999)
17) 長沼 誠 日比 紀文	腸管バーチエット病および単純性潰瘍の臨床 的および免疫学的検討. (シンポジウム)	第57回日本消化器内視鏡 学会	金沢	5.10 (1999)
18) 柏木 和弘 日比 紀文	Microsatellite instability (MIN)による炎症粘 膜を母地とする発癌の予測—内視鏡下生検組 織を用いた経時的変化—. (シンポジウム)	第57回日本消化器内視鏡 学会	金沢	5.10 (1999)
19) 日比 紀文 長沼 誠 岩男 泰 渡辺 守	炎症性腸疾患の新しい治療法：白血球除去療 法と免疫統御法. (特別パネル)	第54回日本肛門病学会総 会	東京	10.23 (1999)
20) 岩男 泰 長沼 誠 日比 紀文	炎症性腸疾患におけるルーチン検査としての 拡大内視鏡手技. (ビデオワークショップ)	第58回消化器内視鏡学会 総会	広島	10.28 (1999)
21) 久松 利一 渡辺 守 日比 紀文	Microsatellite instabilityおよび発癌関連遺伝 子1-8U発現からみた潰瘍性大腸炎における大腸 癌発癌リスクグループの選別. (シンポジウム)	第41回日本消化器病学会 大会 DDW-Japan1999	広島	10.29 (1999)
22) 金井 隆典 渡辺 守 日比 紀文	クローン病病変における腸管粘膜内Th1CD4 陽性T細胞および活性化マクロファージの役 割とこれを標的とした慢性腸炎治療法の開発. (パネルディスカッション)	第41回日本消化器病学会 大会 DDW-Japan1999	広島	10.29 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
23) 福井 一人 渡辺 守 矢島 知治 山崎 元美 岡本 晋 石井 裕正 石川 博通 金井 隆典 日比 紀文	T細胞受容体 α 鎖欠損マウスおよびIL-7受容体欠損マウスを用いた慢性大腸炎におけるIL-7/IL-7レセプターシグナル異常。(デジタルポスター)	第41回日本消化器病学会大会 DDW-Japan1999	広島	10.29 (1999)
24) 長沼 誠 岩男 泰 金井 隆典 渡辺 守 石井 裕正 日比 紀文	腸型パーチェット病の自然経過と治療効果。(シンポジウム)	第17回日本大腸検査学会 総会	千葉	11.14 (1999)
25) 田原 利行 柏木 和弘 江崎 俊彦 久松 利一 緒方 晴彦 石井 裕正 岩男 泰 金井 隆典 渡辺 守 日比 紀文	潰瘍性大腸炎慢性炎症粘膜を母地とする dysplasia. 大腸癌 microsatellite instability (MIN) の関与.	第85回日本消化器病学会 総会	長崎	4.22 (1999)
26) Naganuma,M. Watanabe,M. Kanai,T. Nakazawa,A. Yajima,T. Matsukawa,H. Iwao,T. Ishii,H. Mukai,M. Hibi,T.	Unique strycture of T lymphocyte Aggregates in intestinal villi of Crohn's disease.	The American Gastroenterological Association	フロリダ	5.17 (1999)
27) Watanabe,M. Ueno,T. Yajima,T. Okamoto,S. Hitotsumatsu,O. Ezaki,T. Yamazaki,M. Hayashi,T. Ishii,H. Kanai,T. Hibi,T.	Dysregulation of mucosal immune responses mediated by intestinal epithial cell-derived IL-7 in colonic inflammation.	The American Gastroenterological Association (DDW)	フロリダ	5.17 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
28) 渡辺 守 日比 紀文	遺伝子操作マウスにおける粘膜IL-7機構の異常に伴う慢性大腸炎の発症 -大腸上皮由来IL-7による粘膜免疫応答の維持-。(ワークショップ)	第20回日本炎症学会	仙台	7.16 (1999)
29) Nakazawa,A. Watanabe,M. Kanai,T. Yamazaki,M. Yajima,T. Ogata,H. Iwao,Y. Ishii,H. <u>Hibi,T.</u>	Expression and functional role of a costimulatory molecule CD86 on epithelial cells in the inflamed colonic mucosa.	The American Gastroenterological Association (DDW)	フロリダ	5.17 (1999)
30) 長沼 誠 渡辺 守 金井 隆典 岩男 泰 一松 収 佐藤 俊朗 船越 信介 高木 英恵 福井 一人 岡沢 啓 中野 雅 中澤 敦 石井 裕正 <u>日比 紀文</u>	クローン病に認められる回腸末端絨毛内のT lymphocyte aggregates (TLA) の検討.	第36回消化器免疫学会総会	仙台	7.23-24 (1999)
31) Nakamaru,K. Kanai,T. Watanabe,M. Okasawa,M. Naganuma,M. Ishii,H. Ikeda,M. Kurimoto,M. <u>Hibi,T.</u>	Interleukin-18 is expressed in intestinal mucosa and regulates mucosal T cell proliferation in Crohn's disease.	10 th International Congress of Mucosal Immunology	オランダ	7.1 (1999)
32) Watanabe,M. <u>Hibi,T.</u>	Dysregulation of mucosal IL-7 system induces chronic colitis in IL-7 transgenic mice and ulcerative colitis.	10 th International Congress of Mucosal Immunology	オランダ	7.1 (1999)
33) Tahara,T. Kashiwagi,K. Ezaki,T. Hisamatsu,T. Ogata,H. Iwao,T. Ishii,H. Kanai,T. Watanabe,M. <u>Hibi,T.</u>	Progression of colitic cancer from chronic inflamed mucosal tissue in ulcerative colitis can be predicted by micro-satellite instability in colonic mucosa.	10 th International Congress of Mucosal Immunology	オランダ	7.1 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
34) 田村 好弘 佐藤 太郎 渡辺 智子 福田 真作 対馬 健一 棟方 昭博	ダイレクトシーケンシングによるHLA-DRBのDNAタイピングと炎症性腸疾患家族内集積例での検討.	第85回日本消化器病学会総会	長崎	4.24 (1999)
35) 坂本 十一 石黒 陽 金沢 浩介 山形 和史 棟方 昭博	潰瘍性大腸炎治療指針改定案の妥協性に関する検討.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-Japan 1999	広島	10.30 (1999)
36) 相原 裕之 樋渡 信夫 豊田 隆謙	腸管特異的なプロモーターを用いたIL-12p40トランスジェニックマウスの作製.	第85回日本消化器病学会総会	長崎	4.15-18 (1999)
37) 桂島 良子 樋渡 信夫 木内 喜孝 島田 剛延 豊田 隆謙	炎症性腸疾患 (IBD) と血小板由来増殖因子 (PDGF) と PDGF受容体 (PDGF-R) の関与 (第2報).	第85回日本消化器病学会総会	長崎	4.24 (1999)
38) 樋渡 信夫	「炎症性腸疾患の病態と治療」 重症・難治性潰瘍性大腸炎の内科的治療. (シンポジウム)	第25回日本医学会総会	東京	4.2-4 (1999)
39) Negoro,K. Kinouchi,Y. Takahashi,S. Takagi,S. Obana,N. Satoh,J. Hiwatashi,N. Shimosegawa,T. Toyota,T. Higuchi,T. Itoh,K.	Genetic association of polymorphisms in the 5'-flanking region of the human tumor necrosis factor (TNF)- α gene with Crohn's disease in Japan.	99 th Annual Meeting of American Gastroenterological Association	フロリダ	5.15-19 (1999)
40) Kumagai,Y. Ohtani,H. Hiwatashi,N. Fukushima,K. Dairaku,N. Simosegawa,T. Toyoya,T. Nagura,H.	In situ expression of platelet-derived growth factor (PDGF) and its receptor (PDGF-R) in inflammatory bowel disease.	99 th Annual Meeting of American Gastroenterological Association	フロリダ	5.15-19 (1999)
41) Noguchi,M. Hiwatashi,N. Ohara,T. Toyota,T.	Development of Th1 CD4+T-cells via IL-12p70 in Crohn's disease but lack of development of Th1 cells via IL-12 in ulcerative colitis.	99 th Annual Meeting of American Gastroenterological Association	フロリダ	5.15-19 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
42) Funayama, Y. <u>Sasaki, I.</u> Naitou, H. Fukushima, K. Shibata, C. Masida, T. <u>Hiwatashi, N.</u> Matsuno, S.	Ulcerative appendicitis as an independent but possibly promoting lesion in ulcerative colitis.	99 th Annual Meeting of American Gastroenterological Association	フロリダ	5.15-19 (1999)
43) 野口 光徳 <u>樋渡 信夫</u> 下瀬川 徹 豊田 隆謙	「消化器粘膜の炎症－粘膜上皮の細胞障害とその機序－」 炎症性腸疾患患者粘膜における Th1 免疫能亢進とその制御. (ワークショップ)	第20回日本炎症学会	仙台	7.15-16 (1999)
44) 熊谷 進司 大谷 明夫 <u>樋渡 信夫</u> 福島 浩平 下瀬川 徹 豊田 隆謙 名倉 宏	「消化器粘膜の障害と修復のメカニズム」 炎症性腸疾患 (IBD) における血小板由来増殖因子 (PDGF) とその受容体 (PDGF-R) の組織内発現. (シンポジウム)	第36回消化器免疫学会総会	仙台	7.23-24 (1999)
45) 渡邊 浩光 <u>樋渡 信夫</u> 織内 竜生	「内視鏡的拡張術の手技と成績」 クローン病の狭窄に対する内視鏡的拡張術. (ビデオワークショップ)	第58回消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-29 (1999)
46) 大栗 紀子 <u>樋渡 信夫</u> 熊谷 進司 岩淵 正広 下瀬川 徹 豊田 隆謙 大谷 明夫 名倉 宏	炎症性腸疾患 (IBD) の炎症修復過程における血管内皮細胞増殖因子 (vascular endothelial growth factor; VEGF) の関与について.	第40回日本消化器病学会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-31 (1999)
47) 野口 光徳 <u>樋渡 信夫</u> 大原 正志 下瀬川 徹 豊田 隆謙	虫垂炎切除は潰瘍性大腸炎の発症を抑制するか－日本人における症例対象研究－.	第40回日本消化器病学会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-31 (1999)
48) Sugai, M. <u>Hiwatashi, N.</u> Katsurashima, Y. Oriuchi, T. Shimosegawa, T.	Appendectomy and the risk of developing ulcerative colitis : A case control study.	7 th United European Gastroenterology Week	ローマ	9.13-17 (1999)
49) 高久 秀哉 渡邊 英伸 <u>味岡 洋一</u>	潰瘍性大腸炎における大腸癌の発生－p53 遺伝子異常からみた検討－.	第88回日本病理学会	東京	4.6-8 (1999)
50) <u>味岡 洋一</u>	潰瘍性大腸炎に発生した大腸癌.	第88回日本病理学会	東京	4.6-8 (1999)
51) <u>味岡 洋一</u> 渡邊 英伸	IBD と癌. (シンポジウム)	第45回日本病理学会	東京	4.6-8 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
52) 須田 武保 畠山 勝義	潰瘍性大腸炎の病態からみた外科治療.	第25回日本医学会総会	東京	4.4 (1999)
53) Shimamura,K. Hatakeyama,K. Okamoto,H. Suda,T. Sakai,Y.	Long-term results and complications after ileal W pouch-anal anastomosis.	The 15th Congress of East-Asian CICD	ソウル	4.26 (1999)
54) 畠山 悟 末廣 敬祐 加納 恒久 高久 秀哉 斉藤 義之 佐々木正貴 山本 智 谷 達夫 山崎 俊幸 島村 公年 岡本 春彦 須田 武保 酒井 靖夫 畠山 勝義	非連続性病変を有する潰瘍性大腸炎症例の検討.	第54回日本大腸肛門病学会総会	東京	10.23 (1999)
55) 須田 武保 高久 秀哉 島村 公年 岡本 春彦 酒井 靖夫 畠山 勝義 味岡 洋一 渡邊 英伸	潰瘍性大腸炎におけるp53遺伝子異常の検討—癌周囲および肛門管部粘膜を中心にして—.	第54回日本消化器外科学会総会	名古屋	7.16 (1999)
56) Suda,T. Araki,C. Shimamura,K. Okamoto,H. Sakai,Y. Hatakeyama,K.	Surgical indications for ulcerative colitis in the patients under corticosteroid therapy.	7 th Congress of The Asian Federation of Coloproctology	北京	11.6 (1999)
57) 加納 恒久 畠山 悟 佐々木正貴 谷 達夫 島村 公年 岡本 春彦 須田 武保 畠山 勝義	回腸人工肛門造設術における酸化再生セルローズ合成吸収性癒着防止剤使用例の検討.	第61回日本臨床外科学会総会	東京	11.26 (1999)
58) 松井 敏幸 櫻井 俊弘	「炎症性腸疾患の診断と治療」Crohn病の病態からみた内科的治療.(シンポジウム)	第25回日本医学会総会	東京	4.4 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
59) 八尾 恒良 宇野 博之 西村 拓 櫻井 俊弘 八尾 健史 松井 敏幸	クローン病-診断面を中心に-。 (パネルディスカッション)	第54回日本大腸肛門病学会総会	東京	10.23-24 (1999)
60) 櫻井 俊弘 長浜 孝 松井 敏幸 八尾 恒良 福原 俊一 岩男 泰 下山 孝	Crohn病患者のQualiti of Life (QOL) の検討.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-31 (1999)
61) 尾石 弥生 植木 敏晴 櫻井 俊弘 坂口 正剛 松井 敏幸 八尾 恒良	Crohn病における慢性膵炎の臨床的研究.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-31 (1999)
62) 宇野 博之 古川 尚志 櫻井 俊弘 松井 敏幸 八尾 恒良 松本 主之 岡田 光男 吉永 一彦	Crohn病患者の長期生命予後と死因の検討.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-31 (1999)
63) 宗 祐人 松井 敏幸 櫻井 俊弘 八尾 恒良 竹村 聡	Crohn病における腸管皮膚瘻と皮下膿瘍の簡易識別法- Indocyanine Green (ICG) 腸管内投与法の有用性-.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-31 (1999)
64) 永江 隆 菊地 陽介 平井 郁仁 佐藤 茂 真武 弘明 津田 純郎 櫻井 俊弘 松井 敏幸 八尾 恒良	Pit Patternの観察が潰瘍性大腸炎との識別に有用であったアメーバ性大腸炎の2例.	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-30 (1999)
65) 関 剛彦 平井 郁仁 櫻井 俊弘 松井 敏幸 八尾 恒良	在宅経静脈栄養療法の導入によりQOLの著明な改善をみたCrohn病の1例.	第14回在宅静脈栄養研究会	徳島	9.4 (1999)
66) 竹島 史直 牧山 和也 谷山紘太郎	Eosinophil cationic protein (ECP) の腸管平滑筋への作用.	第85回日本消化器病学会総会	長崎	4.22-24 (1999)

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
67) 竹島 史直 牧山 和也 村瀬 邦彦 大仁田 賢 古巣 央 山尾 拓史 池田 幸紀 磯本 一 河野 茂	潰瘍性大腸炎の虫垂開口部病変における炎症細胞免疫組織学的検討.	第57回日本消化器内視鏡学会総会	金沢	5.10-12 (1999)
68) Takeshina,F. Makiyama,K. Taniyama,K.	Eosinophil cationic protein contracts the smooth muscle of Guinea-pig Intestine.	American DDW 1999	フロリダ	5.16-19 (1999)
69) 前城 達二 平田 哲生 座覇 修 外間 昭 金城 渚 金城 福則 齊藤 厚	重症糞線虫症における小腸造影検査の臨床的検討.	第10回臨床寄生虫学会総会	大阪	6.5 (1999)
70) 久貝 雪野 岸本 邦弘 砂川 隆 半仁田慎一 宮里 史郎 仲吉 朝史 座覇 修 外間 昭 金城 渚 佐久川 廣 金城 福則 齊藤 厚	いわゆる竹の節状所見が認められたCrohn病の6例.	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-30 (1999)
71) 平田 哲生 半仁田慎一 砂川 隆 与那嶺吉正 久貝 雪野 又吉 亮二 座覇 修 金城 渚 外間 昭 佐久川 廣 金城 福則 齊藤 厚	結核性腹膜炎5例の検討.	第85回日本消化器病学会総会	長崎	4.22-24 (1999)

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
72) 久貝 雪野 知花 洋子 前城 達二 大見謝秀臣 砂川 隆 宮里 史郎 平田 哲生 仲宗根啓樹 宇高真智子 外間 昭 金城 渚 金城 福則 齊藤 厚	プロピオン酸ベクロメタゾン注腸が著効した直腸炎型潰瘍性大腸炎の1例.	第54回日本大腸肛門病学会総会	東京	10.23 (1999)
73) 砂川 隆 与那嶺吉正 川上 和義 久貝 雪野 外間 昭 金城 渚 座覇 修 渡辺 守 日比 紀文 金城 福則 齊藤 厚	潰瘍性大腸炎大腸粘膜固有層リンパ球より樹立したCTLの大腸上皮細胞HLAクラスI結合ペプチドに対する反応の検討.	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28 (1999)
74) 戸田 信晴 守田 則一 豊田裕輝子 大川 倫子 田島 聖子 宮崎 路子 野崎 良一 久野 三朗 高木 幸一 高野 正博	非特異的炎症性腸疾患の脂溶性ビタミンについて(第1報):7日間摂取食事調査の解析.	日本ビタミン学会第51回大会	静岡	6.3-4 (1999)
75) 守田 則一 野崎 良一 久野 三朗 高木 幸一 高野 正博	非特異的炎症性腸疾患の脂溶性ビタミンについて(第2報):身体側面からみたビタミンA.	日本ビタミン学会第51回大会	静岡	6.3-4 (1999)
76) 田島 聖子 守田 則一 宮崎 路子 豊田裕輝子 大川 倫子 戸田 信晴 平井 裕子 美濃 尚人 野崎 良一 高木 幸一 高野 正博	クローン病患者の骨密度測定とその背景要因について.	第30回日本消化吸収学会総会	滋賀	7.10 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
77) 田中 寅雄 守田 則一 黒水 丈次 豊原 敏光 宮崎 道彦 石橋 憲吾 竹尾 浩真 辻 順行 高野 正博	クローン病における腹部超音波所見の検討.	第54回日本大腸肛門病学会総会	東京	10.23-24 (1999)
78) 守田 則一 野崎 良一 高木 幸一 高野 正博 戸田 信晴 石川 行美	潰瘍性大腸炎活動期患者の血中アミノ酸の動態と病態に即した栄養療法剤の開発.	第21回日本臨床栄養学会総会	東京	11.8-9 (1999)
79) 宮崎 路子 戸田 信晴 守田 則一 田島 聖子 大川 倫子 豊田裕輝子 野崎 良一 高木 幸一 高野 正博	クローン病患者の身体計測パラメータの変動と摂取栄養の関連について.	第22回日本栄養アセスメント研究会	滋賀	11.22 (1999)
80) 石川 行美 守田 則一 太田 紀子 居倉 真紀 戸田 信晴 安藤なおみ 田中 寅雄 黒水 丈次	炎症性腸疾患 (IBD) 外来患者の摂取食品群別調査からみた食事指導の問題点.	第22回日本栄養アセスメント研究会	滋賀	11.22 (1999)
81) 守田 則一 戸田 信晴 野崎 良一 滝本 彰夫 高野 正博 守田 佳子 大槻 眞	炎症性腸疾患の危険因子としての食事要因について: クローン病における症例対象研究.	第3回日本病態栄養学会総会	京都	1.8-9 (2000)
82) 石川 行美 守田 則一 太田 紀子 居倉 真紀 田中 寅雄 黒水 丈次	潰瘍性大腸炎外来患者の食事摂取と栄養学的寸察.	第21回日本臨床栄養学会総会	東京	11.8-9 (1999)
83) 助川 寧 八木田旭邦 山口 博之 神谷 茂	精製Yersinia enterocolitica Hsp60投与によるマウス大腸炎の発症.	第7回東日本IBD病因・病態フォーラム	東京	6.25 (1999)

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
84) 莊司 康嗣 楠 正人 山村 武平	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・J型回腸囊肛門吻合術.	第25回日本医学会総会	東京	4.3-4 (1999)
85) 莊司 康嗣 楠 正人 柳 秀憲 野田 雅史 池内 浩基 山村 武平	潰瘍性大腸炎に対する手術術式と治療計画の改善.(パネルディスカッション)	第54回日本消化器外科学会総会	名古屋	4.15-16 (1999)
86) 池内 浩基 楠 正人 野田 雅史 柳 秀憲 莊司 康嗣 山村 武平	クローン病における腸閉塞症例の検討.	日本腹部救急医学会総会	金沢	9.16-17 (1999)
87) 内野 基 池内 浩基 野田 雅史 柳 秀憲 莊司 康嗣 楠 正人 山村 武平	大量下血にて緊急手術を要したクローン病の1例.	日本腹部救急医学会総会	金沢	9.16-17 (1999)
88) 莊司 康嗣 楠 正人 山村 武平	新しい手術方法を用いた潰瘍性大腸炎に対する外科的治療戦略.(ワークショップ)	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-31 (1999)
89) 池内 浩基 楠 正人 野田 雅史 柳 秀憲 莊司 康嗣 山村 武平	クローン病における大腸全摘術症例の検討.(要望演題)	第61回日本臨床外科学会総会	東京	11.24-26 (1999)
90) 名倉 宏	Phenotypic analysis of macrophages in normal and inflamed intestinal mucosa:a potential mechanism for amplification of T cell activation through the CD28 pathway in the mucosal inflammation.	第6回日韓リンパ網内系ワークショップ	倉敷	3.31-4.2 (1999)
91) 有廣 誠二 大谷 明夫 樋渡 信夫 名倉 宏	炎症性腸疾患における Seprase の発現.	第88回日本病理学会	東京	4.6-8 (1999)
92) 大谷 明夫 有廣 誠二 名倉 宏	炎症性腸疾患とマトリックス分解酵素発現第2報:血管中膜平滑筋の組織構築への関与.	第88回日本病理学会	東京	4.6-8 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
93) 大谷 明夫 有廣 誠二 名倉 宏	炎症病態における小静脈中膜平滑筋の細胞マトリックス蛋白回転への関与	第36回日本消化器免疫学会総会	仙台	7.23-24 (1999)
94) 熊谷 進司 大谷 明夫 樋渡 信夫 下瀬川 徹 豊田 隆謙 名倉 宏	炎症性腸疾患 (IBD) における血小板由来増殖因子 (PDGF) と PDGF 受容体 (PDGF-R).	第36回日本消化器免疫学会総会	仙台	7.23-24 (1999)
95) 有廣 誠二 大谷 明夫 樋渡 信夫 名倉 宏	炎症性腸疾患の炎症巣および線維化巣における seprase の役割.	第36回日本消化器免疫学会総会	仙台	7.23-24 (1999)
96) 中村 志郎 松本 蒼之 押谷 伸英 荒川 哲男 黒木 哲夫 大谷 明夫 名倉 宏	クローン病における肉芽腫は成熟樹状細胞声共通の形質発現・動態をしている -病態形成への関与-	第29回日本免疫学会総会	京都	12.1-3 (1999)
97) 馬場 正三	大腸癌の病態と疫学.	第85回日本消化器病学会総会 教育講演会	東京	4.22 (1999)
98) <u>Baba.S.</u>	Molecular pathology of early cancer.	ACOS	インドネシア	8.5 (1999)
99) 小金井一隆 篠崎 大 木村 英明 杉田 昭 福島 恒男	Crohn 病の腸狭窄に対する手術例の検討.	第53回日本消化器病学会総会	京都	2.18-19 (2000)
100) 杉田 昭 原田 博文 山崎 安信 福島 恒男 西山 潔 田口 智也 島田 紘	直腸癌を合併した Crohn 病の特徴と臨床経過.	第85回日本消化器病学会総会	横浜	4.22 (1999)
101) 吉田 謙一 小金井一隆 清水 大輔 石山 暁 三辺 大介 藤井 正一 高橋 正純 鬼頭 文彦 福島 恒男	クローン病の栄養療法施行例における血中ビタミン K 値.	第30回日本消化吸収学会総会	滋賀	7.10 (1999)